

子宮頸癌術後における予後予測因子の検討

1. 研究の対象

2005 年 1 月から 2022 年 7 月までの間に当院で子宮頸癌に対して手術を実施した患者様

2. 研究目的・方法

当院での子宮頸癌に対して手術を受けた患者様の情報を診療録から抽出します。抽出したデータをもとに解析を行い、再発リスク因子について検討することが本研究の目的です。

3. 研究に用いる情報の種類

情報: 病歴、再発リスクとなりうる因子(病期、組織型、切除断端陽性、術後補助治療の有無、卵巢温存の有無、卵巢吊り上げの有無、ヒトパピローマウイルスの感染、BMI、経産、術者、喫煙等)等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究分担者:

大阪国際がんセンター 婦人科 前田 通秀

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者: 婦人科 上浦 祥司

-----以上